

# ぐんま子ども

# 歌舞伎公演

一、鳥辺山心中 祇園茶屋の場とりべやましんじゆう ぎおんちやや

ぐんま子ども歌舞伎受講生

二、三人吉三 白波大川端庚申塚の場さんにんきち さともえのしらなみおおかわばたこうしんづか

みなかみ町子ども歌舞伎(特別出演)

三、義経千本桜 道行初音旅よしつねせんぼんざくら みちゆきはつねのたび

ぐんま子ども歌舞伎受講生

平成30年 8月26日 日

開演 13時30分(開場 13時00分)

ベイシア文化ホール 小ホール

入場無料 先着400名(直接、会場にお越しください)

問合せ：群馬県教育文化事業団

電話 027 - 224 - 3960

\*動画・写真撮影はご遠慮ください

主催／第42回県民芸術祭運営委員会、群馬県、公益財団法人群馬県教育文化事業団

後援／群馬県教育委員会、前橋市教育委員会、群馬県伝統歌舞伎保存協議会、上毛新聞社、朝日新聞社前橋総局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、共同通信社前橋支局、時事通信社前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ株式会社、FM GUNMA

子ども達の一生懸命な姿と純粹な演技こそ子ども歌舞伎の魅力。  
 公募で集まった県内の子ども達が昨年10月から稽古を重ね、その成果を披露します。  
 歌舞伎に初めて挑戦する子ども達の熱演をぜひご覧ください。

【ぐんま子ども歌舞伎受講生】



岩井龍喜



岩崎遙彦



恩河凜音



工藤美侖



久保田ゆず



佐藤茉耶



下田優仁



関莉乃



中島美咲



野中小芭



西村紗瑛子



湯本尊耶

とりべやましんじゅう ぎおんちやや ぼ  
**鳥辺山心中 祇園茶屋の場**

三代将軍徳川家光のお供で京都に来ている菊地半九郎は遊女・お染と恋仲となり、家宝の刀に替えてまでも彼女を助けて親元へ帰してやりたいと親友の坂田市之助に相談する。そこへ兄の市之助を迎えにやって来た弟・源三郎は半九郎と口論となり、決着をつけるため河原へ向かった。

【配役】

菊地半九郎	関莉乃	お染	野中小芭
坂田市之助	下田優仁	お花	工藤美侖
坂田源三郎	久保田ゆず	与兵衛	岩井龍喜

さんにんきち さ とむえのしらなみおおかわばたこうしんづか ぼ  
**三人吉三 巴白波大川端庚申塚の場**

同じ名を持つ三人の盗賊の出会い。不幸の呼び水だった振袖姿のお嬢さんに化けて盗みを働くお嬢吉三。彼が手に入れた百両をお坊ちゃん風情が抜けないお坊吉三が手に入れたくて争っていたところへ、僧侶上がりの和尚吉三が仲裁に入る。百両の金は和尚が預かり、盗人三人は義兄弟の契りを交わす。

みなかみ町子ども歌舞伎

平成17年度ぐんま郷土芸能活性化事業の一環として始まり、その後、みなかみ町教育委員会ならびに水上歌舞伎一座の協力を得ながら子ども達と保護者が自主的に活動を続け、みなかみ町子ども歌舞伎を立ち上げました。

よしつねせんぼんざくら みちゆきはつ ね のたび  
**義経千本桜 道行初音旅**

桜が満開の奈良県吉野山。源氏と平家の戦いの後、源義経の行方を追って静御前がやってくる。静が初音の鼓を打つと、どこからともなくお供の忠信が現れる。山中での寂しさをまぎらわそうと、忠信は静に平家との合戦の様子を語る。そこへ逸見藤太が家来の花四天を引き連れやって来る。藤太は静を奪おうとするが、忠信に手もなく追い払われるのであった。

【配役】

静御前	西村紗瑛子	花四天	恩河凜音
佐藤忠信	関莉乃		久保田ゆず
逸見藤太	佐藤茉耶		中島美咲
花四天頭	岩崎遙彦		湯本尊耶

**ベシア文化ホール** (群馬県民会館) 前橋市日吉町1-10-1 TEL 027-232-1111

- 前橋駅からバスで約8分「県民会館前」下車
- 中央前橋駅から徒歩約15分
- 関越自動車道 前橋I.C.から車で約15分
- 北関東自動車道 駒形I.C.から車で約25分

・駐車場には限りがあります。ご来場の際は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。  
 ・当館駐車場が満車の場合は、市営パーク城東(有料)などをご利用ください。